

「CBDDCフォーラム全体 会合(第二回)」を開催(一月)

▼日本銀行は二〇二三年四月より、中央銀行デジタル通貨(CBDC)に関する「パイロット実験」を開始しました。

▼「パイロット実験」では、①中央システムからエンドポイントデバイスまでを実装する実験用システムを構築し、性能試験等を行うとともに、②CBDDCの制度設計を適切に進める観点から「CBDDCフォーラム」を設置し、リテール決済に関わる民間事業者の参加を得ながら、幅広いテーマを議論・検討しています。

▼二〇二四年一月十一・十二日にオンライン形式で開催した標記会合では、「パイロット実験」における実験用システムの準備状況、CBDDCフォーラムの運営状況、CBDDCに関する海外主要国の取り組み等について日本銀行より説明し、参加者の方々と意見交換を行いました。

▼このうち、CBDDCフォーラムの運営状況については、既に議論が始まっている三つのワーキング・グループ(①CBDDCシステムと外部インフラ・システム等との接続、②追加サービスとCBDDCエコシステム、③KYC(注)とユーザー認証・認可)における検討状況のほか、新しく設置予定のワーキング・グループの進め方についても説明しました。

▼日本銀行は、CBDDCフォーラムでの議論・検討を通じて得られる民間事業者の技術や知見を日本銀行における実証実験と制度設計面の検討に活かしていきたいと考えています。

▼本会合の議事概要やCBDDCフォーラムに関する最新情報は、日本銀行ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



(注) KYCとは「Know Your Customer(顧客を知る)」の略称であり、本人確認を含む継続的顧客管理を指す。

旧小樽支店金融資料館 特別展

「新しい日本銀行券二〇二四
—匠の技とデザイン—」開催中

九月二十四日(火)まで

▼日本銀行は、七月三日に、新しい日本銀行券の発行を開始します。

▼本展示では、お札の新しい顔となる渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎の紹介、そして新しいお札と外国のお札の偽造を防ぐ技術などを解説します。

▼渋沢栄一は、一九〇八年に小樽を往訪しており、渋沢栄一の日記から小樽往訪時の記事や渋沢倉庫小樽支店の写真などもご紹介しています。

▼新しい一万円券の裏に描かれ



裁断前の新しい日本銀行券(大判)と、渋沢栄一と小樽に関する展示



特別展示全景

る東京駅の設計者は、金融資料館(日本銀行旧小樽支店)や日本銀行本店を設計した辰野金吾です。日本銀行本店はこれまで四種類の日本銀行券にデザインされており、今回その全てを展示しています。

編集後記

■年初の能登半島地震により犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた方々とそのご家族にお見舞い申し上げます。今号の表紙は、昨年11月に新築移転した金沢支店の店舗です。免震構造を採用するなど業務継続力の確保を重視した建物となっており、今回の地震でも被災地の金融機能の維持と資金決済の円滑の確保の拠点となりました。被害を受けられた地域の一刻も早い復旧・復興を願っております。

■東京港醸造・齊藤会長のインタビューに向かうため、東京の真ん中の幹線道路から路地を入った先、間口の狭いビルを見た時には、「えっ、こんなところで日本酒が造れるの」と思わず声が出ました。常識にとらわれずに挑戦してきたからこそ生まれた、都心の日本酒です。そこに江戸時代から紡いできたストーリーが加わることで、一層おいしさが増したように感じました。酒蔵で働く方のライフワークバランス確保や持続可能な日本酒業界のあり方など、将来を見据えた取り組みからも目が離せません。

■今号では、10年ぶりとなる総裁特別インタビューを掲載しました。普段はなかなか聞くことが出来ない植田総裁の普段の生活、学生や経済学者時代のエピソードなども語っていただいています。ぜひご覧ください。(小牧)

【アンケート募集中】

「にちぎん」に関するご意見・ご感想は、アンケートよりお寄せください。日本銀行のホームページからインターネットでもアンケートにご回答いただけます。



※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。(https://www.boj.or.jp/about/koho_nichigin/index.htm)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ(https://www.boj.or.jp)をご覧ください。

にちぎん 2024年春号
編集・発行人 小牧義弘
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎03-3277-1609



デザイン 株式会社市川事務所
印刷 株式会社アイネット
禁無断転載



特別展入口

▼また、日本銀行券の偽造防止技術の淵源は、日本各地でお札が発行されるようになった江戸時代にさかのぼります。江戸時代のお札に用いられた「図柄に隠しこんで小さな文字を印刷する」といった偽造を防ぐ技術は、現在のお札のマイクロ文字といった偽造防止技術にもつながっています。

▼本特別展を通して、新しい日本銀行券の特徴や江戸時代から引き継ぎ、発展させてきたお札

の偽造防止技術をじっくりご覧いただける幸いです。

【入館料】無料

【休館日】水曜日

【開館時間】午前九時半～午後

五時（入館は午後四時半まで）。ただし三月中は午前十時～午後五時

※最新の情報は金融資料館ホームページをご覧ください。

【所在地】北海道小樽市色内

一〇一〇一六

【お問い合わせ先】日本銀行旧

小樽支店金融資料館
〇一三四二二一



新卒採用エントリーシートの募集開始

▼日本銀行は、三月一日から新卒採用（総合職、特定職、一般職）のエントリーシートの募集を開始しました。詳細は、日本銀行ホームページをご覧ください。

